

平成 29 年度 柏尾スマイル保育園 自己評価公表

- 1、自己評価の進め方
- 2、保育士による自己評価チェックシート集計
- 3、保育所における自己点検・自己評価
- 4、総評・課題

総評・課題

<保育士の自己評価・保育所自己評価より・保護者アンケート>

・年3回の保育士自己評価や前年度の反省、課題を全職員に周知し意識を高めることにより、保育方針や保育姿勢、保育目標など柏尾スマイル保育園が大切にしようとしていることの理解が深まり、保育士一人ひとりの評価が上がり、前年度から大きく変化があった。共通理解が深まることでつながりある保育を実践していけるよう今後もさらに意識を高めてゆきたい。

・みんなの広場デーを設けたことにより異年齢児との自然な関わりや子ども自身での気づき、発見、そして何よりも一人ひとりが安心してのびのびと自己を発揮する姿が見られた。

・育児相談ができるように専用電話を設けたが利用はほとんどなく育児相談は在園の保護者のみであった。地域の子育てしている親御さんも気軽に保育園とつながれるよう、春にはスマイルフェスタを開催し、保育園に来る機会を設け、育児相談や母親同士の交流などを充実させていけるよう計画していく。

・障がい児保育に関して、前年度の評価が低かったこともあり、園内での情報周知を徹底することで短時間保育士や担当保育士以外の保育士にも様子が把握できたり園としての取り組みや配慮の共通理解ができた。

関係機関との連携については、保護者と園、関係機関と適切な情報交換や時期、タイミングが合わず不完全なこともあったので、じっくりと話し合いを密にし安心した生活がどの子ども送れるよう努めていく。

・全ての職員が保育やその他の諸活動を通じて知見と人間性を深め、保育の知識、技術及び施設運営の質を高めるよう常に自己研鑽に努めていくようにする。